



## 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 マブチモーター株式会社  
コード番号 6592 URL <http://www.mabuchi-motor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀井 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大越 博雄

TEL 047-710-1127

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

平成24年9月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	42,080	8.2	2,843	54.1	4,547	39.3	2,999	33.1
23年12月期第2四半期	38,897	△6.9	1,845	△51.3	3,264	△26.5	2,252	△29.2

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 5,173百万円 (119.5%) 23年12月期第2四半期 2,357百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	85.60	—
23年12月期第2四半期	64.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	184,258	171,958	93.3
23年12月期	181,351	168,538	92.9

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 171,958百万円 23年12月期 168,538百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	50.00	—	50.00	100.00
24年12月期	—	50.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当金の内訳 特別配当 20円00銭

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	9.0	5,700	85.9	8,100	64.4	5,700	—	162.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	39,875,881 株	23年12月期	39,875,881 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	4,839,834 株	23年12月期	4,839,419 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	35,036,312 株	23年12月期2Q	35,036,891 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
(第2四半期連結累計期間)	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
(第2四半期連結累計期間)	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
(6) セグメント情報等	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年6月30日）における世界経済は、一部で回復の兆しが感じられましたが、全体として不安感が残る状況で推移しました。新興国経済は、低率ながらも成長を継続しましたが、先進国は依然として力強さに欠け、欧州の信用不安が継続しました。わが国経済は、円の高止まり、電力不足などの不安要因が依然解消されず、短期間での回復は望めない状況でした。

こうした中、部品業界では、東日本大震災やタイ洪水からのサプライチェーンの回復、ならびに新興国需要に支えられる一方で、欧州経済危機による景気低迷や顧客における在庫調整などの影響も受けました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比1.0%増加、金額では8.2%の増加となりました。また、期初における計画に対しましては、数量で5.6%下回りましたが、金額では1.0%上回りました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間売上高は420億8千万円（前年同期比8.2%増）となり、その大半を占めるモーター売上高は420億1千8百万円（前年同期比8.2%増）となっております。

営業利益につきましては、材料費の高騰が落ち着き、また、プロダクトミックスも改善傾向であることから売上総利益率で前年並みを維持するとともに、販売費及び一般管理費の抑制効果により、28億4千3百万円（前年同期比54.1%増）となりました。経常利益は、為替差益およびスクラップ材料売却収入が前年よりも増加したことで営業外収支が改善し、45億4千7百万円（前年同期比39.3%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、海外子会社での固定資産売却益が前期に計上されていたことや、投資有価証券評価損が増加したことなどにより、特別損益の収支が悪化し41億7千2百万円（前年同期比18.9%増）となりました。四半期純利益は、連結実効税率が低下したことで29億9千9百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

次に、当社の主たる事業でありますモーター部門の市場別動向と販売状況についてご説明いたします。

#### ① 自動車電装機器市場

当市場における売上高は244億4千6百万円（前年同期比22.2%増）と大幅に増加しました。主要用途であるミラー、ドアロック、エアコンダンパー用や、重点強化事業であるパワーウィンドウ、パワーシート用を含むほぼ全ての用途で、自動車生産の伸長と当社のシェア拡大や搭載車の拡大が寄与して、好調に推移し増加しました。

#### ② 音響・映像機器市場

当市場における売上高は45億3千4百万円（前年同期比9.2%減）と減少しました。DVDプレーヤー用は、新興国需要の不振により大幅に減少しました。CD（カーCD）プレーヤー用は、欧州での減速や中国での在庫調整がありました。ほぼ前年並みとなりました。

#### ③ 光学・精密機器市場

当市場における売上高は57億2千1百万円（前年同期比0.6%減）と減少しました。インクジェットプリンター用は、新興国需要が堅調で増加し、デジタルカメラ、PCドライブ用は、採算重視方針を継続したことから、大幅減となりました。

#### ④ 家電機器・工具・玩具市場

当市場における売上高は73億1千6百万円（前年同期比9.4%減）と減少しました。シェーバー用は中高級機種が堅調であったもののパイロシェーバーが不振であり、ヘアードライヤー、電動工具用等とも欧米市場が不調で低迷したことから、減少しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対して29億6百万円増加し、1,842億5千8百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、現金及び預金の増加93億3千万円、受取手形及び売掛金の増加16億8百万円、有価証券の減少52億3千5百万円、投資有価証券の減少35億3千8百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して5億1千3百万円減少し、122億9千9百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、支払手形及び買掛金の増加1億4千4百万円、その他流動負債の減少7億9千5百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して34億2千万円増加し、1,719億5千8百万円となりました。為替換算調整勘定で16億6百万円評価損が減少、その他有価証券評価差額金で5億6千8百万円評価損が減少しております。

自己資本比率は93.3%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

景気は、唯一自動車販売市場が牽引役を務め回復基調を維持しております。新興国経済の成長は、底堅いものの低率のままの推移が予想されます。一方、先進国の景気は依然として安定感に欠け、欧州における信用不安の影響

は下期にも及ぶと思われま

す。当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場で回復基調が継続し、先進国、新興国とも当初予想を若干超える需要が期待できる一方で、音響・映像機器市場、光学・精密機器市場、家電機器・工具・玩具市場ともに年末商戦向け需要が期待できず低調に推移すると予想しております。

このような経営環境下、上期の実績も踏まえ、年間販売計画は、当初計画どおり860億円（前年同期比9.0%増）に据え置いております。

利益面につきましては、当第2四半期連結会計期間の実績を考慮して見直した結果、当初予想（平成24年2月14日公表）に対し、営業利益は26.7%上回る57億円（前年同期比85.9%増）、経常利益は26.6%上回る81億円（前年同期比64.4%増）、当期純利益は18.8%上回る57億円（前年同期は4億6千6百万円の当期純損失）にそれぞれ業績予想を修正いたしております。

なお、当下半期の業績見通しにおける為替レートは、1米ドル76円を前提としております。

また、第2四半期期末の配当および期末の配当予想につきましては、当初予想からの変更はございません。

当該予想につきましては、平成24年8月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

（注）上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 円ならびにアジア通貨の為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅や鉄などの原材料相場の変動

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

（4）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,920	64,250
受取手形及び売掛金	11,977	13,586
有価証券	23,078	17,843
商品及び製品	12,762	12,824
仕掛品	886	1,057
原材料及び貯蔵品	4,958	4,670
未取還付法人税等	84	—
繰延税金資産	294	339
その他	3,909	3,353
貸倒引当金	△107	△121
流動資産合計	112,764	117,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,375	36,040
減価償却累計額	△22,214	△21,130
建物及び構築物（純額）	15,161	14,910
機械装置及び運搬具	25,511	24,035
減価償却累計額	△16,548	△14,398
機械装置及び運搬具（純額）	8,962	9,636
工具、器具及び備品	10,589	9,998
減価償却累計額	△8,861	△8,165
工具、器具及び備品（純額）	1,728	1,833
土地	6,020	6,020
建設仮勘定	2,357	3,045
有形固定資産合計	34,231	35,446
無形固定資産	661	670
投資その他の資産		
投資有価証券	32,644	29,105
長期貸付金	45	38
繰延税金資産	221	299
その他	820	928
貸倒引当金	△35	△33
投資その他の資産合計	33,694	30,336
固定資産合計	68,587	66,453
資産合計	181,351	184,258

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,854	3,998
未払法人税等	615	610
賞与引当金	226	240
役員賞与引当金	—	17
繰延税金負債	0	15
その他	5,087	4,292
流動負債合計	9,784	9,173
固定負債		
退職給付引当金	416	423
資産除去債務	15	15
繰延税金負債	1,382	1,463
その他	1,214	1,222
固定負債合計	3,029	3,125
負債合計	12,813	12,298
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	185,294	186,541
自己株式	△34,747	△34,748
株主資本合計	191,671	192,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,457	△888
為替換算調整勘定	△21,676	△20,070
その他の包括利益累計額合計	△23,133	△20,958
純資産合計	168,538	171,958
負債純資産合計	181,351	184,258

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	38,897	42,080
売上原価	29,087	31,427
売上総利益	9,809	10,653
販売費及び一般管理費	7,963	7,809
営業利益	1,845	2,843
営業外収益		
受取利息	298	284
受取配当金	67	64
為替差益	418	804
スクラップ材料売却収入	478	499
その他	243	153
営業外収益合計	1,506	1,806
営業外費用		
株式関係費	27	27
遊休資産減価償却費	4	7
その他	56	68
営業外費用合計	88	103
経常利益	3,264	4,547
特別利益		
固定資産処分益	487	0
投資有価証券売却益	10	—
貸倒引当金戻入額	4	—
特別利益合計	502	0
特別損失		
固定資産処分損	6	27
減損損失	85	—
臨時退職金	71	12
投資有価証券評価損	48	336
貸倒引当金繰入額	8	—
リース解約損	20	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	—
特別損失合計	257	375
税金等調整前四半期純利益	3,509	4,172
法人税等	1,257	1,173
少数株主損益調整前四半期純利益	2,252	2,999
四半期純利益	2,252	2,999

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,252	2,999
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△29	568
為替換算調整勘定	134	1,606
その他の包括利益合計	104	2,174
四半期包括利益	2,357	5,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,357	5,173
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,509	4,172
減価償却費	1,616	1,801
減損損失	85	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	29	4
受取利息及び受取配当金	△366	△348
為替差損益 (△は益)	108	4
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△10	—
有形固定資産処分損益 (△は益)	△480	27
投資有価証券評価損益 (△は益)	48	336
生産拠点閉鎖損失引当金の減少額	△197	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△278	△1,507
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,011	352
仕入債務の増減額 (△は減少)	△886	△1,092
その他	△845	170
小計	321	3,920
利息及び配当金の受取額	370	355
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△761	△1,147
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69	3,128
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,574	△4,226
定期預金の払戻による収入	5,669	4,833
有価証券の取得による支出	△6,410	△3,099
有価証券の売却による収入	8,578	10,499
固定資産の取得による支出	△2,497	△2,576
固定資産の売却による収入	573	1
投資有価証券の取得による支出	△3,893	—
投資有価証券の売却による収入	1,998	2
その他	△154	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,709	5,335
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△1,754	△1,753
自己株式の取得による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,756	△1,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	112	601
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,423	7,309
現金及び現金同等物の期首残高	67,540	61,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,117	68,575

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,603	24,135	3,847	6,310	38,897	—	38,897
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	21,575	21,575	—	—	43,151	(43,151)	—
計	26,179	45,710	3,847	6,310	82,048	(43,151)	38,897
セグメント利益又は損失(△)	△758	1,601	193	131	1,168	677	1,845

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額677百万円は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントおよび「アジア」セグメントにおいて遊休状態となった事業用固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては「日本」セグメントで20百万円、「アジア」セグメントで65百万円です。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	5,255	25,225	4,401	7,197	42,080	—	42,080
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	26,577	27,482	—	—	54,060	(54,060)	—
計	31,833	52,708	4,401	7,197	96,141	(54,060)	42,080
セグメント利益又は損失(△)	△1,022	2,498	293	524	2,294	548	2,843

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額548百万円は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。